

令和6年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価報告書

令和6年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価結果

○調査対象: 保護者(施設アンケート結果97世帯)、保育・給食・保健部門職員(自己評価結果46名事務・短時間職員を含む)

上記保護者、職員の評価資料と経営、教育・保育内容の説明及び施設見学による、学校関係者評価委員7名の評価結果です。

学校関係者評価結果【3段階評価:A・・・よい B・・・一部検討を要する C・・・改善を要する】

評価項目	領域	学校関係者評価委員 7名		今後の取り組むべき課題
		コメント:(○成果 ▲課題)	評価	
I 教育・保育目標について	教育・保育目標の具現化に向け乳幼児の実態を踏まえた(事業計画における「重点目標」)の設定となっていますか。	○丁寧で実態に応じた目標設定だと思います。 ○自然に恵まれた地域ならではの特色を活かした教育をされていると思う。 願いを反映しようと努力してくれるのが伝わってくる。	A	自然豊かな当園の環境から、身近な自然と関わり目指す子供達の姿を具体的に掲げ、計画を進めてまいります。保護者の皆様へは、これまで同様「あおぞらこども園の施設方針、教育・保育目標と実践について」園だよりでお伝えし、ご理解いただけるよう努めます。
	目標は、園や地域の特色を生かしていますか。		100%	
	目標は、社会の要請や保護者の願いを反映していますか。		B	
II 教育・保育に対する指導について	日頃の活動は「指導計画」(「今月の保育の進め方」玄関掲示参照)を作成し実践しておりますが、子供達の実態に即した活動が見られていますか。	○子供の思いに沿った活動ができるように、保育環境が整えられていた。 ○各教室、年齢にあった環境が整えられていると思いました。 ○各年齢にあった配慮や整理をされていると思う。	A	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を念頭に小学校の接続を意識した実践に努めています。事業計画における「重点目標」として、有識者を交えた公開保育は継続して二年になります。公開保育の協議会では、他園の先生方の意見や考えを伺う機会があり、違った目線から保育を見つめ直すことができました。有識者の方からの助言と他園の先生方の意見や考えを参考に、保育教諭の力量と教育・保育の質を高める為、学びへの歩みを進めてまいります。
	各年齢にあった環境を整備し、教育・保育の内容や方法に配慮されていますか。		100%	
	教材・教具が、子供達にとって使いやすいように扱われている様子がみられますか。		B	
III 行事について	園全体の行事の種類や実施回数は、参加しやすいように日程など配慮されていますか。(七夕夏祭り、運動会、発表会等)	○子供達が輝いた運動会でした。 ○利用者アンケートの結果から、保護者の思いや意見を考慮しながら、行事などが行われていると感じました。 ○保護者の思いや意見を全て取り入れるのは大変かと思いますが、意見を聞いて考えてくれるのは凄と思う。	A	施設全体の行事のあり方については、子供達の育ちや保護者の方々の参加状況等々、様々な視点に立ち検討してまいりました。全ての方々の思いを反映させることは難しい事ではありますが、これまで検討してきた視点と共に、目の前で見せてくれる子供達の姿を大事に、今後も計画・実施してまいります。 自然現象に対する配慮と意識を職員間で共有し、子供の姿からねらいの達成を第一に考えた環境(自然への配慮工夫)のもと対応します。
	行事のねらい(案内文書に掲載)を計画や実施に十分生かしていますか。		100%	
	保護者の思いや意見をとりいれていますか。		B	
IV クラス経営・保健安全指導・給食について	基本的な生活習慣やマナー・ルールを身につけられるような指導が行われていますか。	○保育の様子を毎日知らせていることが、保護者の安心に繋がっていると感じます。 ○掲示物は見やすく、工夫されていると思います。新しいお知らせは「New」などと記入されており、インパクトがあり伝わりやすいと思います。 ○給食展示は凄く良いと思う。「どんなもの食べたのか」を知る事ができ、子供との会話も増える。避難訓練等で学ぶ事も多く、学んだ事を家で教えてくれている。小さい内から学ぶことにより、災害の時はもちろんだが、不審者の対応も身につけ良いと思う。	A	「教育・保育基本方針」にあります、「教育・保育についてわかりやすく説明します。」という点について、施設アンケートでは何点かご意見をいただきました。まだまだ、検討が必要と受け止めています。各クラスで工夫されたドキュメンテーション(クラスの壁に掲示)にも目を向けていただき、子供達の様子や活動内容を知ってもらえる機会になるようにしていきます。 給食については、子供達自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や食の循環・環境への意識、調理する人への感謝の気持ちが育つように計画を進めています。今年度は、「食育アンケート」を実施しました。保護者の皆様からのご理解とご協力により様々な視点から情報をいただき、これからも”子供達の健康な体作り”を考え、「楽しい給食」を進めてまいります。
	同年齢及び異年齢児の効果的な活動の充実を図られていますか		100%	
	家庭へのお知らせや掲示物は、時期、内容、分かりやすさ、見やすさ等適切ですか。(園だより、クラスからのお知らせ、保健衛生のお知らせ、掲示物等)		B	
	園生活における、お子さんの健康管理(けがの対応、体調不良を訴えた際の対応も含め)は、適切ですか。		0%	
	子供達や職員は、危機管理に関する訓練(避難訓練・交通安全指導・防犯訓練等)を計画に基づいて適切に実施していますか		C	
	給食は、子供達が楽しむ工夫がされ、おいしく安心して食べる事ができていると感じますか。(保育参加での様子、給食展示、園だよりなどを通し、献立内容や給食便りを発行)		0%	
乳幼児の安全確保のため、家庭地域社会・関係機関等と連携を図っていると感じますか。				

令和6年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価報告書

令和6年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価結果

○調査対象: 保護者(施設アンケート結果97世帯)、保育・給食・保健部門職員(自己評価結果46名事務・短時間職員を含む)

上記保護者、職員の評価資料と経営、教育・保育内容の説明及び施設見学による、学校関係者評価委員7名の評価結果です。

学校関係者評価結果【3段階評価:A・・・よい B・・・一部検討を要する C・・・改善を要する】

評価項目	領域	学校関係者評価委員 7名		今後の取り組むべき課題
		コメント:(○成果 ▲課題)	評価	
V 情報・施設・設備の状況について	乳幼児や保護者に関する個人情報適切に取り扱っていますか。(個人情報保護規定に沿って実施)	○努力していると感じます。 ○安全な環境整備が備えられていた。 ○視覚的に分かりやすく整理されていて、子供達にとっても良いと思う。 ▲ロッカーの上に本棚が置かれている教室がありました。安全面を配慮した置き方を工夫して欲しいと思います。	A	子供をとりまく社会的問題や環境を職員間で共有しています。 私達保育教諭は、虐待・子供の人権擁護に関して専門性をもってアンテナを張り、子供達と向き合う必要があります。 今年実施した「人権擁護のためのセルフチェック」等、研修や自己研鑽を通して、常に自らの人間性と専門性の向上に努め、専門職としての責務を果たせるよう努めます。 子供達が過ごす保育環境は、教具、教材、用具の適切な管理、安全な施設内の環境を整備することは大事な点です。 施設全体を見直しします。
	遊具・用具・教材等を、活用しやすいように整理・保管していますか。		86%	
VI 家庭・地域社会との連携について	お子さんの園での様子について、保育教諭と情報交換は行われていますか。(送迎時、連絡帳、個人面談、保育参加等)	○小学生の上級生意識の高まりに繋がる、とても有効な交流活動です。 ○地域の方々との交流は、良くなされていると思います。これからも継続して行って欲しいと思います。 ○クラスが上にいく事に情報交換は減っていますが、たまに担当クラス以外の先生からも様子を共有してくれるので(クラスの先生も)良い。小さい内から様々な年代の人と交わる事は、成長の中で大事なことだと思う。子供も喜んでる。 ▲小学校との連携は、お互いに望んでいる。 ▲先生によって少し差があるように感じることもある。	A	
	子供達の社会性を育てるため、地域の方々との交流(高齢者施設の訪問、仁井田交番等公共機関の見学、地域の方々との避難訓練、町内散歩等)を持つ機会がありますが、お子さんは喜んでいきますか。また、年齢的に経験が無い場合、これからは是非こうした経験の出来る機会を望まれますか。		86%	
	小中学生・高校生(職場体験・インターシップ)との交流をお子さんは喜んでいましたか。又、年齢的に経験が無い場合、これからは是非こうした経験の出来る機会を望まれますか。		B	
			14%	
			C	
			0%	

【教育・保育目標について】【教育・保育に対する指導について】は、昨年度に引き続いて施設や地域の特色、各年齢に沿った遊びや生活の環境が整備されていると評価をいただくことが出来ました。【行事について】【クラス経営・保険安全指導・給食について】は、昨年度から評価を上げることが出来ておりますが、これは継続的に実施してきた施設内研修や公開保育に向けての全職員による振り返り、改善への積み重ねによるものが大きいと考えます。また具体的に、保護者の意見の取入れや掲示・展示物については、施設側の工夫や努力も感じられる利用者等の声も受け取られており、今後も継続した実践を進めてまいります。【情報・施設の設備の状況】【家庭・地域社会との連携について】は、評価を下げてしまっている項目、より改善に努めなければならない項目コメントもございました。改めて職員間での取組や理解、内容の共有化を図っていく必要性を感じております。特に就学に向けて、小学校との接続を意識した共通する生活的な取り組みや相手を意識した言葉の使い方については、子供達に対してだけではなく、保育者である大人の私達も心がけ関わっていき事が重要であると考えます。

これからも、保育の専門性を高めていけるよう日々の保育実践を振り返りながら、客観的視点による評価を得る機会を持ってまいります。保護者の皆様、地域関係者の皆様方、ありがとうございました。

あおぞら幼保連携型認定こども園 園長 上村 清吾